

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
クリティカルケア看護学特論Ⅳ(ケアの専門性)	1	後期	2	講義 30時間
担当教員	松本幸枝、中島洋一、路璐、奥脇和男、比田井理恵、赤池麻奈美、原田恵美子、前田浩			
授業概要	救急看護のサブスペシャリティ、並びに看護ケアの専門的実践力を養う。			
到達目標	1. クリティカル状況下にある対象者やその家族に対して専門性の高い看護実践について学修し、専門的看護実践について探求できる。 2. クリティカル状況下にある対象者やその家族に対して、他職種との調整やチーム医療の促進など、高度実践看護師の役割を述べるができる。			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	クリティカルケア領域における看護モデル(Synagy model など)	松本	
	2	救命救急治療を受ける対象者とその家族への高度実践看護：トリアージ	奥脇	
	3	救命救急治療を受ける対象者とその家族への高度実践看護：熱傷患者	奥脇	
	4	救命救急治療を受ける対象者とその家族への高度実践看護：薬物中毒	奥脇	
	5	救命救急治療を受ける対象者とその家族への高度実践看護：外傷	比田井	
	6	救命救急治療を受ける対象者とその家族への高度実践看護：意識障害	比田井	
	7	救命救急治療を受ける対象者とその家族への高度実践看護 ：ドクターカー・フライトナースの役割	比田井	
	8	災害看護における高度実践看護	赤池	
	9	クリティカルケア領域で治療を受ける対象者とその家族へ 高度実践看護：創部処置	原田	
	10	緊急手術及び高度侵襲手術・ハイリスク因子をもつ対象者への 高度実践看護：手術室看護	前田	
	11	緊急手術及び高度侵襲手術・ハイリスク因子をもつ対象者への 高度実践看護：術前から術後まで	松本	
	12	救命救急治療を受ける対象者とその家族への高度実践看護 ：CPA で搬送された患者の家族支援(グリーンケア)	松本	
	13	救急領域に必要な他職種連携	比田井	
14-15	第1-13回で学んだことを統合し、 自己のサブスペシャリティについて展望する。	松本・中島・路		
教科書	指定なし			
参考書	適宜紹介			
評価方法・基準	討議への参加度(60%)、レポート(40%)とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前学習：事前に提示された資料を読んでくること。 事後学習：疑問点を整理し、関連した文献等を調べ、理解を深めること。			
備考	特になし			